

平成 30 年度事業計画

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

I 方針

1. 民藝美の概念と価値を普及し地域の生活文化の向上に寄与する。
 - ・当館の特性を活かし、優れた館蔵品等を活用して、質の高い展覧会を開催する。
 - ・館蔵品等の貸与を通じて、国内外地域との文化交流を図る。
2. 民藝品の普及と啓蒙活動の推進、そしてその製作にかかわる工人の育成に貢献する。
3. 民藝に関する資料や情報のアーカイブ化を推進し次代に継承する。

II 事業

1、展示活動及び調査研究と情報収集・提供に関する事業

1) 平成 30 年度開催の展覧会及び講演会

- ・春期特別展「柚木沙弥郎の染色」-もようと色彩-
会期：平成 30 年 4 月 3 日（火）～6 月 24 日（日）
来館者が多く見込まれる春期特別展「柚木沙弥郎の染色」の会期中の毎金曜日は、午後 7 時まで開館時間を延長する。
記念講演会「自作と日本民藝館」 5 月 19 日（土）18：00－19：30
講師：柚木 沙弥郎（染色家）
- ・夏期特別展 「書物工芸」-柳宗悦の蒐集と創造-
会期：平成 30 年 7 月 3 日（火）～9 月 2 日（日）
記念講演会(案)「柳宗悦とウィリアム・ブレイク」 7 月 14 日（土）18：00－19：30
講師：佐藤 光（東京大学教授）
- ・秋期特別展 「白磁」
会期：平成 30 年 9 月 11 日（火）～11 月 23 日（金・祝）
記念講演会(案)「心のやきもの-朝鮮白磁の魅力」 11 月 3 日（土）18：00－19：30
講師 伊藤 郁太郎（大阪市立東洋陶磁美術館名誉館長）
- ・日本民藝館展 -新作工藝公募展-
会期：平成 30 年 12 月 9 日（日）～12 月 23 日（日）
- ・冬期特別展 柳宗悦の「直観」-美を見いだす力
会期：平成 31 年 1 月 11 日（金）～3 月 24 日（日）
記念講演会(案)「柳宗悦の『直観』について」 3 月 2 日（土）18：00－19：30
講師 松井 健（東京大学名誉教授）

2) 調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

- ・所蔵品の調査・研究を基にした展覧会図録の再版（『日本民藝館所蔵 朝鮮陶磁図録』2009 年）。

3) 資料・文献などの保存管理と活用

- ・所蔵品の保存状態を定期的に点検し、防虫防菌処理や修復が必要な場合には適宜措置を施す。
- ・文献資料・図書類のデータベースのデータ更新を継続する。

2. 民藝の普及・振興に関する事業

- 1) 各地美術館及び他民藝館への所蔵品の貸与、及び共同企画への参画
 - ・館所蔵品等の国内外の美術館等への貸出や、共同企画展への参加を通して民藝の普及を行う。
(宮城県民芸協会 50 周年記念「手仕事の日本展」、21-21 DESIGN SIGHT 企画「民藝展」等)
- 2) 各地美術館及び関係団体への講師・講演協力
 - ・日本民藝協会主催の催事及び他館（美術館等）への講師・講演を通し、民藝運動及び日本民藝館の活動をアピールし普及・推進させる。
- 3) 博物館実習生への現場教育の機会提供
 - ・大学からの博物館実習の受け入れ依頼に応じ、博物館学芸員資格の習得を希望する学生に対し現場における知識・技能の習得を支援し、将来の美術館を担う人材の育成に協力する。
実習生数：約 15 人程度 実習期間：10 日間（講義 4 日、実務実習 6 日）
- 4) 「日本民藝館友の会・維持会」会員への情報提供と入会の案内
 - ・会員や一般を対象としたセミナー、見学会など定期的な開催を企画していく。
 - ・会員に情報「日本民藝館の特別展・記念講演・見学会の案内」を定期的に送付する。
- 5) 小学校を中心とする学校との連携による美術館教育などの教育普及活動
 - ・民藝の普及活動の一環として、小学生を主対象とした鑑賞教室などの企画・運営を行う。
- 6) 外郭団体との連携
 - ・他館との情報交換、近隣施設との活動の連携や開催事前案内、資料配布などの PR 強化を図る。
- 7) 国際文化交流に関する事業
 - ・海外の美術館等の展示企画に対する作品貸与の協力や、民藝に関する情報の提供を実施する。

3. 民藝に携わる工人の育成及び協力・支援に関する事業

- ・日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)
 - ① 出展公募：新作工芸品の制作者および協力制作者を対象に作品を公募し、その選考を通して出品者を顕彰。併せて講評会を実施して、製作者の育成支援を促進する。
 - ② 入選作の展示公開と即売：選考された優秀な作品を大展示室で展示公開する。また、入選・準入選作品の即売を通して作り手を支援し、世の中に優れた新作工芸品を普及させる。

4. 広報活動の向上に関する事業など

- 1) 広報活動
 - ・ホームページ/facebook/駅貼り有料ポスターによる情報の発信
展覧会や各種催事の情報をホームページやソーシャルメディアを通して発信し、また展覧会ポスターの電鉄構内への掲出により、幅広い客層の獲得に向けた活動を継続的に展開する。
 - ・マスメディアの情報による集客強化
館の展覧会・催事について、TV、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット情報誌などのマスコミ取材に積極的に対応し、情報提供の多様化を継続的に進める。
 - ・弊館を紹介する映像資料の製作
館のブランディング（認知度・知名度）を高めるための映像（DVD）を協業で製作する。
- 2) 寄付や維持会員を増やすための募集活動
 - ・創設 80 周年記念事業基金の募金活動（3 ヶ年計画）に向けて、関連団体や会員への働きかけやクラウドファンディングの活用、CSR 活動を行う企業への理解促進を図り募金活動を進める。

以上